

8月

ひよこ・すみれ組だより

長雨が続き、天候と日々らめっこをしている日々。子ども達の体調や外の気温に合わせて、時間を決め、園庭に出て水遊びをし、気温が高い時には室内でゆっくりと手先を使った活動、または子ども同士の関わりをさらに深めていくごっこ遊びをして日々園での成長を見せてくれているすみれ組さん。また、初めて一歩が出た子や初めてハイハイが出来るようになった子、つかまり立ちが出来るようになったなど、日々成長が見られるひよこ組さん。室内でも熱中症対策をしていき、こまめに水分補給をして、体調面にも気を付けていきたいです。

あれあひ盆踊りの様子

金魚すくい

網ですくう姿や、手でつかんで見たりして楽しむ姿が見られました♪



ボーリング

アンパンマンのピンを、めがけて、ボールを転がして遊びました♪



景品ゲット!

自分で好きな景品を選びました♪



みんなで盆踊り

ホールに行き、みんなで踊りを踊りました。



屋台でおやつと券を交換

自分で券を渡しておやつと引き換えをしました♪



以上児さんの屋台の様子も見に行きました!



楽しそうな様子の子ども達でした♪



室内の子どもたちの様子



5本の指を使って物をつかみ、取ったり、出したりする様子が見られるようになってきました。最初は簡単な物を引っ張ることから始まり、さらに発達すると積み重ねたりして遊ぶ様子が見られます。

そこから・・・

少しずつ、親指と人差し指で小さなものをつまめるようになっていき、つまむと「これなんだろう」と口に入れて確かめたくります。このとき危ない物や月齢に合っていない小さなものは誤飲につながるの、見守りながら様子を見ています。



この動きが・・・



食事の時にもつながり、自分で食材をつまんで手づかみ食べに、繋がっていきます。手づかみ食べは一人で食べるためのはじめの一歩になります。こぼしても自分で食べたいという気持ちを見守っています。

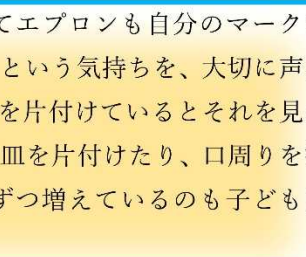
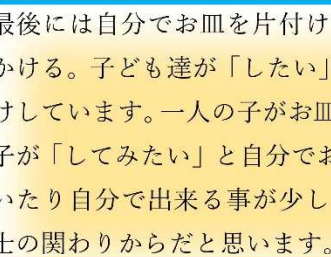
大人のスプーンに手を伸ばしたら・・・

周りの物に興味が出てきて、手を伸ばしたら、スプーンを渡してみる。まだ、握っているだけですが、「自分で食べる」ためのステップです。スプーンを使うことは手指や関節の発達と共に大きく関連していきます。



自分でできるよ!

最後には自分で皿を片付けてエプロンも自分のマークにかける。子ども達が「したい」という気持ちを、大切に声かけています。一人の子がお皿を片付けているとそれを見た子が「してみたい」と自分で皿を片付けたり、口周りを拭いたり自分で出来る事が少しずつ増えているのも子ども同士の関わりからだと思えます。



異年齢クラスのいいところ

0.1歳児は同じ空間で過ごすことで、0歳児は1歳児の姿を見て真似をしたり、1歳児は0歳児にお世話をしたり、兄弟、姉妹がいなくても自然と年齢が高い人や低い人に関わることができるのが特徴です。これは0.1歳児だけでなく以上児になっても続いていきます。その基礎を子どもたちは0.1歳児の時から自然と子ども達同士で学んでいます。これからどのように成長していくの楽しみです。

新しいお友達

